

豊かな能美暮らしを未来へつなごう！



エス！エス！エスディージーズ

# SDGs

問/市長戦略課SDGs推進室 (☎ 58-2220 ㊟ 58-2291)

## SDGsってなんだろう？

SDGs (Sustainable (サステナブル) Development (デベロップメント) Goals (ゴールズ))は日本語で持続可能な開発目標と訳され、2030年までに持続可能でより良い社会を目指す国際目標のことです。経済・環境・社会の課題を解決するための17のゴール・169のターゲットから構成され、『誰一人取り残さない』ことを誓っています。

## 目標 12 つくる責任 つかう責任

12



『生産者も消費者も、地球の環境と人々の健康を守るよう、責任ある行動をとろう』

目標 12には 11のターゲットがあります。  
例えば、ターゲット 12-5には、『2030年までに、ごみが出ることを防いだり、減らしたり、リサイクル、リユースをして、ごみの発生する量を大きく減らす。』となっています。

公益財団法人日本 unicef 協会ホームページから引用



「責任ある行動」ってなんだ？

つくる人もつかう人も、自分たちが住む大切な地球を守るための行動をすることよ。



「のみSDGs市民ワークショップ」において、捨てられるはずの作物から生まれた染料を使った染色体験を楽しむ子どもたち

## みんなで工夫して、無駄をなくそう

私たちはエネルギーを大量に使ってモノを生産し、消費しています。今や世界人類が使っている資源の量は、地球が再生産できる資源をはるかに超えています。このままでは、地球の資源はなくなり、さらに人類の活動が自然環境を悪化させて、将来、住み続けられなくなってしまうといわれています。

だからこそ、モノをつくる側も、つくり過ぎず、環境に優しいモノをつくる。つかう側も、買い過ぎない、簡単に捨てないなど環境に負担を掛けない取り組みが必要となっています。その取り組みが、「3R (スリーアール) 活動」です。

- ・Reduce (リデュース) = ごみの発生を減らすこと
- ・Reuse (リユース) = 繰り返しつかうこと
- ・Recycle (リサイクル) = 資源として再生利用すること

私たちの生活の中でできる3Rは、「マイバックを持参する」「食材を買い過ぎず、食べ切る」のほか、「モノを大切に長くつかう」「リサイクルで生産された商品を選ぶ」「ごみの分別をする」などがあります。一人一人の取り組みが、かけがえのない地球を守ることに繋がっていきます。いつまでも住み続けられる未来のために、できることから始めてみませんか。

市内企業でも3R活動が行われています。その取り組みを身近に体験してもらうため、12月25日、小松マテーレのfa-bo (ファーボ) で市内小学生の親子20名を対象に「のみSDGs市民ワークショップ」を開催しました。

参加者たちは、タマネギの皮などの成分を配合した染料を使った染色体験や、工場で不要になった端切れを活用したクッション作りやミサンガ作りを通じて、本来、捨てられるはずのものに価値を加えて再利用する「アップサイクル」を学びました。小学生の一人は「物を捨てる前に何かに活用できないか考えるようにしたい」と話していました。

このほか、同社の染色技術と歴史、繊維の未来について学び、工場の様子を見学しました。

SDGsに取り組む市内企業の魅力を知ること、子どもたちが将来、市内企業への就職を考えてくれたらいいですね。

## 主要行事・イベント実施予定

2月

- |         |                                                                                  |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 6日 (日)  | 第6回のみ検定<br>時/10時～11時 場/辰口福祉会館<br>問/のみ検定試験実行委員会 (ふるさと振興公社内) (☎ 52-8008 ㊟ 52-8012) |
| 15日 (火) | ふれあいあいさつデー<br>朝の登校時間に子どもたちへ声かけをお願いします。<br>問/まなび文化課 (☎ 58-2272 ㊟ 55-8555)         |
| 25日 (金) | 議会定例会本会議 (初日)<br>時/10時～ 場/市役所議場 問/議会事務局 (☎ 58-2240 ㊟ 58-2295)                    |

**中止** まなびフェスタ 2022 問/まなび文化課 (☎ 58-2272 ㊟ 55-8555)

2月13日 (日) に開催を予定していた「まなびフェスタ 2022」は、新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、開催を中止します。

のみ検定

## 練習問題に挑戦！



2月6日 (日) 実施の第6回のみ検定に向けて、練習問題を掲載します。

【第1問】2018年に全国からの公募により決定した能美市のキャッチコピーは「したいこと、能美市だったら ( )」である。  
①できるはず ②叶うかも ③挑戦できる ④やれるかも

【第2問】能美市指定文化財史跡9件の一つで、一向一揆の旗頭である荒川一助や中川庄左衛門、永山治郎らが居城したといわれている、和気町にある史跡は次のうちどれか。  
①虚空蔵山城跡 ②秋常山古墳群 ③荒屋古墳群 ④牧野孫七の墓

【第3問】能美市観光大使・特使の委嘱第1号は、プロ野球やメジャーリーグで活躍され、国民栄誉賞を受賞された ( ) である。  
①高木宗介 ②福島武山 ③京田陽太 ④松井秀喜

答えはページの下部にあります

練習問題や過去問題は、ふるさと振興公社ホームページ (右記QRコード) をご覧ください。  
問い合わせのみ検定試験実行委員会 (ふるさと振興公社内) (☎ 52-8008 ㊟ 52-8012)



## 南加賀地域 (小松市・加賀市・能美市・川北町) 鳥獣対策まるわかり体験会

鳥獣対策に関する体験会を開催しますので、興味のある方は、ぜひご参加ください。今回は体験型セミナーとなります。前回 (8月21日開催「ハンターガールと行く～」セミナー) の参加者も、ぜひご参加ください。

**日時** 2月26日 (土) 10時～14時30分 (受付9時30分) **参加無料**

**集合** JR小松駅に10時集合 (大型バスでジビエアトリエ加賀の園 (小松市江指町甲96番地1) に向かいます)

**対象** 市内在住で、狩猟に興味がある方 **定員** 15名 (先着順) **応募締切** 2月16日 (水)

**内容** ・行政職員および地元ハンターによる鳥獣対策の座学 (県内の鳥獣被害状況、フィールドに出る際の注意事項、銃猟・わな猟の基本を説明)  
・フィールド体験 (電気柵・わな猟を見学)

**注意事項** ・野山 (雪の中) を歩くため、長靴 (膝下)、防寒着、レインウェア (上下セット)、軍手、タオルなどをご用意の上、ご参加ください。  
・昼食は各自でご用意ください。昼食時に捕獲獣の試食を行う予定です。  
・雨天決行です。  
・新型コロナウイルスの感染状況などにより開催を中止または延期する場合があります。開催できない場合は2月18日 (金) までに参加者にご連絡します (予定どおり開催する場合は連絡しません)。

**申し込み・問い合わせ** 農林課 (☎ 58-2256 ㊟ 58-2297)



## コラム

### のみふる館内紹介

#### ～テーマ展示室「能美の誕生 山のめぐみ。狩猟と採集の暮らし。」3～

今回もテーマ展示室「能美の誕生 山のめぐみ。狩猟と採集の暮らし。」をご紹介します。こちらの展示室では旧石器時代から縄文時代の暮らしを紹介しています。

縄文時代は、主に狩猟や採集を行いつながりながら生きていた時代です。市内では山の幸に恵まれた辰口地区の丘陵部で多くの集落遺跡が発見されています。

遺跡から最も多く出土するのは土器です。のみふるでも、縄目や渦巻きの文様などが複雑に施されたさまざまな土器が展示されています。これらは一体何に使われたのでしょうか？土器は貯蔵や祭祀、棺にも使用され、その用途は多岐にわたりましたが、日々の暮らしにおける大きな役割の一つは、鍋としての使用でした。

土器は縄文時代から使用されるようになった道具です。旧石器時代には、土器が無かったため「煮る」という調理ができませんでした。土器の登場で「煮る」ことが可能になり、硬い食材や、あくの強い食材など、食べられるものの幅が大きく広がったようです。

のみふるでは、助生遺跡から出土した縄文土器そっくりにした土器を使用した、調理実験動画をご覧ください。動画では、大きく口の開いた深鉢形土器と呼ばれる縄文土器が、当時食べられていた可能性のある食材を調理するのに適した形であったことを紹介しています。複雑な文様のミステリアスな縄文土器、その機能的な一面をぜひご覧ください。



調理実験動画の展示

## お知らせ

### 図録「能美の石碑ものがたり」を刊行しました

昨年開催しました秋季企画展「能美の石碑ものがたり」では、能美郷土史の会が4年の歳月をかけて市内の石碑を調査した成果の一部をご紹介します。本図録は、市内300箇所以上の石碑調査成果を収録しています。石碑調査の集大成をぜひご覧ください。

▶設置施設 市立図書館、能美ふるさとミュージアムなど

図録「能美の石碑ものがたり」



### ひぽ・ゆずの㊟㊟ どうぞっさ



#### 積雪時のごみ収集について

問/生活環境課 (☎58-2217 ㊟58-2292)

積雪時のごみ収集は、道路の除雪状況や交通状況などによって、通常の時間より遅くなる場合や、ごみ出しおよび収集の安全性を考慮し、中止する場合があります。中止やリサイクルセンターを休場する場合は、市ホームページや防災行政無線放送、ごみ分別アプリでお知らせします。

また積雪時は以下の点について、皆さまのご協力をお願いします。

- ・作業員が確実に安全にごみ収集を行うために、集積場周辺の除雪を行うなど環境整備にご協力ください。
- ・積雪時は滑りやすいため、ごみ出しの際は十分ご注意ください。お手元でごみの保管が可能な場合は、無理をせずに次の収集日に出してください。

アプリからごみの分別方法が確認できます



Google Play



AppStore

▲ダウンロードはこちら▲

# 防災サプリー

不足しがちな「防災」を補います

問/危機管理課 (☎58・2201 ㊟58・2290)

## カンタン！ポリ袋で作る「サバメシ (サバイバルメシ)」

「サバメシ (サバイバルメシ)」とは、災害などの非常時に、家庭にある食材を活用して生きていくための食事のことです。災害による断水時には、ポリ袋で調理することで貴重な生活水を節約することができます。簡単ですので、普段の食事でもぜひお試しください。ここで紹介するレシピ以外にも、たくさん種類がありますので、ぜひ調べてみましょう。



### 白飯

#### ▶材料 (2人分)

米 コップ1杯  
水 コップ1.2杯



#### ▶作り方

ポリ袋に材料を入れ、20分ほど水を吸わせた後、湯せんで25分ほど加熱し、そのまま15分ほど蒸らしたら出来上がり。お好みで菜飯の素を入れたり、ふりかけを掛けて味わいましょう。

### 焼き鳥ご飯にアレンジ！

#### ▶材料 (2人分)

米 コップ1杯  
水 コップ1.2杯  
焼き鳥缶 1缶  
コーン缶 大さじ3  
しょうゆ 小さじ1



#### ▶作り方

①ポリ袋に米と水を入れ、20分ほど水を吸わせます。  
②ほかの材料を入れ、白飯と同様加熱して蒸らします。  
③焼き鳥缶でご飯に味がつくるので、しょうゆは少なめで塩分を減らしましょう。ふりかけを掛けて味わいましょう。

### ネギ入りだし巻き卵

#### ▶材料 (2人分)

卵 4個  
ネギ 20グラム  
ほんだし 小さじ1  
塩 ひとつまみ  
しょうゆ 小さじ1/2



#### ▶作り方

①ネギを小口切りにする。  
②ポリ袋に溶いた卵と材料を全て入れ、揉み混ぜ、口を結び、湯せんで20分ほど加熱する。  
③新聞紙などで筒状に形を整えながら冷まして出来上がり。

### タマネギ丸ごとスープ

#### ▶材料 (2人分)

タマネギ 1個  
コンビーフ缶 1/4缶  
コンソメ 小さじ2  
水 大さじ2



#### ▶作り方

①タマネギは皮を剥き、根と先端を落とす。  
②ポリ袋に全ての材料を入れ、湯せんで40分ほど、タマネギが柔らかくなるまで加熱したら出来上がり。

### ひじきの煮物

#### ▶材料 (2人分)

ひじき 小さじ2  
サバみそ煮缶 1缶  
水煮大豆 40グラム



#### ▶作り方

①材料をポリ袋に全て入れてよく揉み混ぜ、空気を抜いて口を結ぶ。  
②湯せんで20分ほど加熱する。  
③取り出して、よく混ぜたら出来上がり。

### ポリ袋調理のポイント

ポリ袋での調理は、高密度ポリエチレン製(耐熱性)かつ食品用と記載のあるポリ袋を使用してください。スーパーマーケットやドラッグストアなどで簡単に手に入ります。

ポリ袋を加熱するときは鍋底に耐熱皿を敷くなどして、鍋にポリ袋がくっついたり、破損したりするのを防ぎましょう。また加熱で中の空気が膨張するため、事前に空気をできるだけ抜いて、口を硬く結んで調理しましょう。湯せんをする水は飲料水でなくても構いません。災害時の節水にぜひ役立てましょう。



## いしかわ動物園にズームイン！

Zoo

文：いしかわ動物園

### ■ネコ科動物たちの世代交代

今年は寅年ですね。トラはネコ科に属することから、今回は、いしかわ動物園で展示してきた歴代のネコ科の動物たちをご紹介します。

開園当初はピューマも展示していたのですが、開園 23 年目を迎えた今は、昨年 7 月に死亡した当時国内最高齢だったトラの「マドラス」を最後に、全て代替わりしました。

現在の顔ぶれを紹介します。まずは、新展示種としてやって来たユキヒョウの「スカイ」(オス、10 歳)と、初代ヒョウの「マウント」「ハッピー」を継いだアムールヒョウの「コロシ」(メス、7 歳)です。次に、先述の「マドラス」と、「ジャム」の後に来園したアムールトラの「ミタケ」(オス、3 歳)と「月」(メス、2 歳)。そして、トラの白変種として、群馬サファリパークから来たホワイトタイガーの「クラウン」(オス、7 歳)も加わっています。

最後は百獣の王ライオンです。ライオンは初代「リッチ」を受け継ぐ 2 代目の「クリス」(オス、12 歳)と「エルザ」「アンニン」を受け継ぐ 3 代目の「ララ」(メス、1 歳、未公開)で、ネコ科動物の合計は 7 頭となります。

動物園で飼育している中型から大型のネコたちの多くが 15 歳から 20 歳程度で寿命を迎えることから、いかに世代が若返ったか、ご理解いただけたのではないのでしょうか。当園ではネコ科の仲間たちが少しでも長く暮らせるよう、細心の注意を払いながら飼育に努めていますので、これからも応援をどうぞよろしくお願いします。



若返った当園のトラたち  
(左からミタケ、クラウン、月)

## みんなの図書館

※開館時間、休館日については、市立図書館ホームページ、各図書館によりをご覧ください。

### おすすめの一般書



#### シルバビュー荘にて

ジョン・ル・カレ【著】  
早川書房

書店を営むジュリアンは、町はずれのシルバビュー荘に住むエドワードと親しくなり、見知らぬ女に手紙を渡すよう頼まれる。一方、英国諜報部長は重大な機密漏えいの犯人を追ってシルバビュー荘へ…。スパイ小説の巨匠の遺作。

### おすすめの児童書



#### プーさんの戦争 世界一有名なクマのお話

リンジー・マティック、  
ジョシュ・グリーンハット【文】  
評論社

獣医師が戦地へ向かう途中で見つけた子グマは、イギリスへ渡り、クリストファー・ロビンと出会う…。世界中で愛されている「クマのプーさん」のモデルとなった子グマの、真実に基づいた物語。当時の貴重な写真や資料も収録。

### おすすめの絵本



#### こんなかお、できる？

トミー・ウンゲラー【絵】  
ウィリアム・コール【作】  
好学社

毎晩、なかなか寝ようとしないう女の子。そこで、パパは「こんなかお、できる？」というゲームに誘います。女の子は寝る支度をしながら、ゲームを楽しみ…。おやすみ前のユーモラスな「かおあそび」絵本。

### 市立図書館ホームページ公開停止および オンライン蔵書検索・予約の利用停止について

日時 2月11日(金・祝) 10時ごろ～11時ごろ  
(約 1 時間を予定)

システム更新に伴い、市立図書館ホームページの公開を停止、またオンラインでの蔵書検索・予約の利用を停止します。作業の進捗状況によっては、時間が前後する場合があります。

ご理解とご協力をよろしくお願いします。



情報発信元 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

【入館料】一般 430 円・75 歳以上 320 円・高校生以下無料  
※浅蔵五十吉記念館もあわせて入館いただけます。

【問い合わせ】☎ 58-6100 ☎ 58-6086

ご来館の際は、基本的感染対策(マスク着用・検温・手洗いなど)にご協力をお願いします。

### 今月のイッピン！「笠間竹雪 色絵牡丹に孔雀図花瓶」

近代九谷の名工、笠間竹雪は日本画を学んで陶画工として一家をなしました。令和元年 10 月 29 日、竹雪の没後 85 年の命日に、市内にお住まいで外孫にあたる廣田豊春氏から本市に寄附のあった作品です。弟子である中嶋寿山の箱書き極めがあります。高台銘は「加賀国／九谷焼／本源製」とあります。これは青壮年期の竹雪がお抱え画工として腕を振るった窯元「本源堂」製であることを意味します。師である沢田南久や私淑した鈴木華邨の画風に影響を受けた写実派の花鳥画が得意で、掛軸も多く残しています。本作の牡丹に孔雀図には日本画の技巧が如何なく発揮されており竹雪の代表作といえてよいイッピン！です。

なお、今年度の「第 6 回九谷ぬり絵コンテスト」の題材にもなりました。  
(文・五彩館 館長 中矢)



笠間竹雪 色絵牡丹に孔雀図花瓶  
サイズ 口径 220 / 高 61.0 / 胴径 47.0 cm  
作者 笠間竹雪 (明治 4 年～昭和 9 年)  
制作 明治 30 年代ごろ  
所蔵先 能美市九谷焼美術館 | 五彩館 |

### ■ 九谷焼ウルトラマンシリーズ十周年展

期間 3月18日(金)まで  
※最終日は 12 時まで  
会場 「五彩館」紫の間

### ■ 第 17 回石川県陶芸協会作品展

期間 3月21日(月・祝)まで  
会場 「五彩館」緑の間  
県内で活躍されている協会会員 35 名の作品を展示しています。

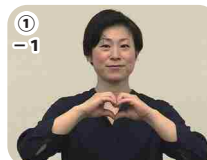
INFO

## 今月の手話

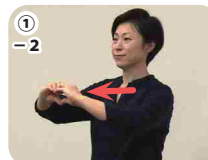
問 / 福祉課 (☎ 58 - 2230 ☎ 58 - 2294)

手話表現：移住アンバサダー 石間 絵美さん (イタリア料理店「イル ボツツォロ」経営)  
移住アンバサダーとは、市の魅力発信、移住希望者への情報提供やサポートなどを行っていただく人です。

### バレンタイン



① - 1 胸元で両手の指先を付けてハートの形を作る。  
① - 2 ハートを前へ出す。



### チョコレート



① - 1 親指と人差し指以外を曲げた両手の手の平を上へ向け並べる。  
① - 2 小指側を 2 回軽く付け合わせる。



### 動画配信中



QRコード

動画で「バレンタインにチョコレートをプレゼントして、一緒に食事をして幸せ♡」の手話表現をご覧ください。  
ぜひ、アクセスしてみてください♪



# わたしの町

## File60 緑が丘



育てたみかんを収穫し、園児たちとおいしくいただきました

私は緑が丘の老人クラブ「緑会」の会長を務めています。事務局を担当していた時期も含めると、10年以上、緑会の運営に関わってきました。

緑会の活動には花見や、市のタウンミーティングの参加、出前講座の受講があります。そのほかにも保育園の園児たちと馴染みがあり、みかんを苗木から育てて収穫したりしています。

10年前は会員が少ないことが悩みでした。当時の会員数は、緑が丘の高齢者のうち約10人に1人だ

ったと思います。地域とのつながりを強め会員を増やすために、旅行を計画したり、カラオケの機材を導入するなど工夫を重ねました。グラウンドゴルフ協会に、ゴルフの指導や会員の入会に協力いただいたこともあります。また年に3回会報を作成し、緑が丘の全世帯に配ることにしました。会報がきっかけで緑会を知り入会してくれる方もおり、努力が報われたとうれしく感じました。現在では緑が丘の高齢者のうち約4人に1人が会員になり、自分たちの活動を誇らしく思っています。

緑会の友人とのつながりはとても大切で、活動の中で地域住民



タウンミーティングに参加した緑会の皆さん



老人クラブ緑会会長

かも まこと  
嘉本 誠 さん

の交流は、日々を過ごしていく上での大きな原動力になります。コロナ禍であってもただ活動を中止するのではなく「どうしたら活動ができるのか」を常に考えることを大切にしています。これから会員を維持することができるよう活動を下の世代へしっかり引き継いでいこうと考えています。

これまで住んできて緑が丘は集合力の強い町だと思っています。学校行事や祭りでも皆が率先して参加して活動してくれますし、災害においても皆が一丸となって対応しています。これからも緑会の活動を通じて緑が丘の強みを生かし、より良い町にしていきたいと思っています。

## File59 福岡町



令和元年7月21日に金沢市文化ホールで行われた第40回女声コーラスのつどいで、合唱を披露する「はまゆうコーラス」の皆さん

私は会社を退職してから、趣味を楽しんだり、地域の福祉活動に関わったりと、充実した毎日を送っています。

根上地区にコーラスグループ「はまゆうコーラス」があると知り入会しました。元々音楽が好きでしたし、地域とのつながりを大切にしたいからからです。現在は、毎年開催される県婦人コーラス連盟主催のイベントや市総合文化祭などの発表会に向け、たくさん練習を重ねています。

練習の成果を本番で発揮できた

ときは感動もので、メンバー全員が、とびきりの笑顔になります。また発表会を通じて、寺井地区や辰口地区のコーラスグループにも知り合いができました。人と顔を合わせれば楽しく、それが私の心の栄養、元気の源になっています。

また私はオカリナグループにも入会しています。闘病生活を送っていた夫のリハビリに良いと知人が勧めてくれたオカリナに、私が興味を持ったのがきっかけでした。練習してもなかなか満足いく演奏はできませんが、オカリナが好きで練習を続けています。

夫が他界し、自身も高齢となる



民舞鑑賞を楽しむ、いきいきサロンの参加者たち



いきいきサロンの運営する音楽好きなら

しんたに えみこ  
新谷 恵美子 さん

中、お世話になっている福岡町で何かできることはないかと思っていたときに、いきいきサロンの運営のお誘いをいただき、携わることになりました。福岡町は世帯数が多いため、お世話をするボランティアを二つのグループに分け、交代で行事の準備などを行っています。サロンの皆さんは家事のベテランなので、行事の準備もあっという間に完了します。コロナの流行により、行事の開催に制約はありますが、感染予防策を講じた対面の集いは、皆さんの笑顔があふれる楽しい時間です。

一日も早くマスク不要の日常が戻ることを祈りつつ、健やかに過ごして行きたいと思うこの頃です。